

宮城県民会館・宮城県民間非営利活動プラザ 複合施設事業について



令和7年7月

環境生活部 消費生活・文化課 共同参画社会推進課

■ 複合施設整備に係る主要経緯

令和2年3月 「県有施設等の再編に関する基本方針」を策定

(宮城県民会館及び宮城県民間非営利活動プラザは「仙台医療センター跡地に移転集約する」ことを決定)

令和3年3月 「仙台医療センター跡地における県有施設の再編に向けた基本構想」を策定

令和4年5月 プロポーザルにより選定した設計業者と契約締結の上、基本設計に着手

令和5年7月 基本構想や文化芸術関係者、NPO関係者の意見等を踏まえ、基本設計が完了

令和6年8月 実施設計が完了

■ 説明会等開催状況

令和5年8月 県民説明会を実施

令和5年9月 地元関係者説明会を実施

令和5年11月 高校生・大学生ワークショップを実施

※ 設計に当たっては、随時、文化芸術関係者やNPO関係者、施設利用者、施設管理者、有識者等の意見聴取を実施

■ 整備及び開館までの主要スケジュール

年 度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度
内 容	▶ 建設工事						
	基本・実施設計		発注準備	建設工事			
	▶ 新県民会館 管理運営						
	管理運営方針・計画策定		開館準備・プレ事業				
				▼条例制定	▼運営主体決定	▼利用受付開始	
	▶ 新NPOプラザ 管理運営						
	管理運営方針・計画策定		条例改正・開館準備・プレ事業				
					▼運営主体決定		
							開館（予定）

■ 整備予定地（位置図）



■ 設計の基本コンセプト

宮城野原にひろがる創造・交流ノハラ

- ①のびのびと広がる創造と交流
- ②立体的に広がる交流ノハラ
- ③宮城野原に浮遊する一枚の伸びやかなヤネ



敷地概要

- ・計画地 仙台市宮城野区宮城野二丁目301-1の一部
- ・敷地面積 52,811.37 m²
- ・区域区分 都市計画区域 市街化区域
- ・用途地域 近隣商業地域
- ・建蔽率の限度 80%
- ・容積率の限度 300%
- ・防火地域 準防火地域
- ・高さの制限 第4種高度地区

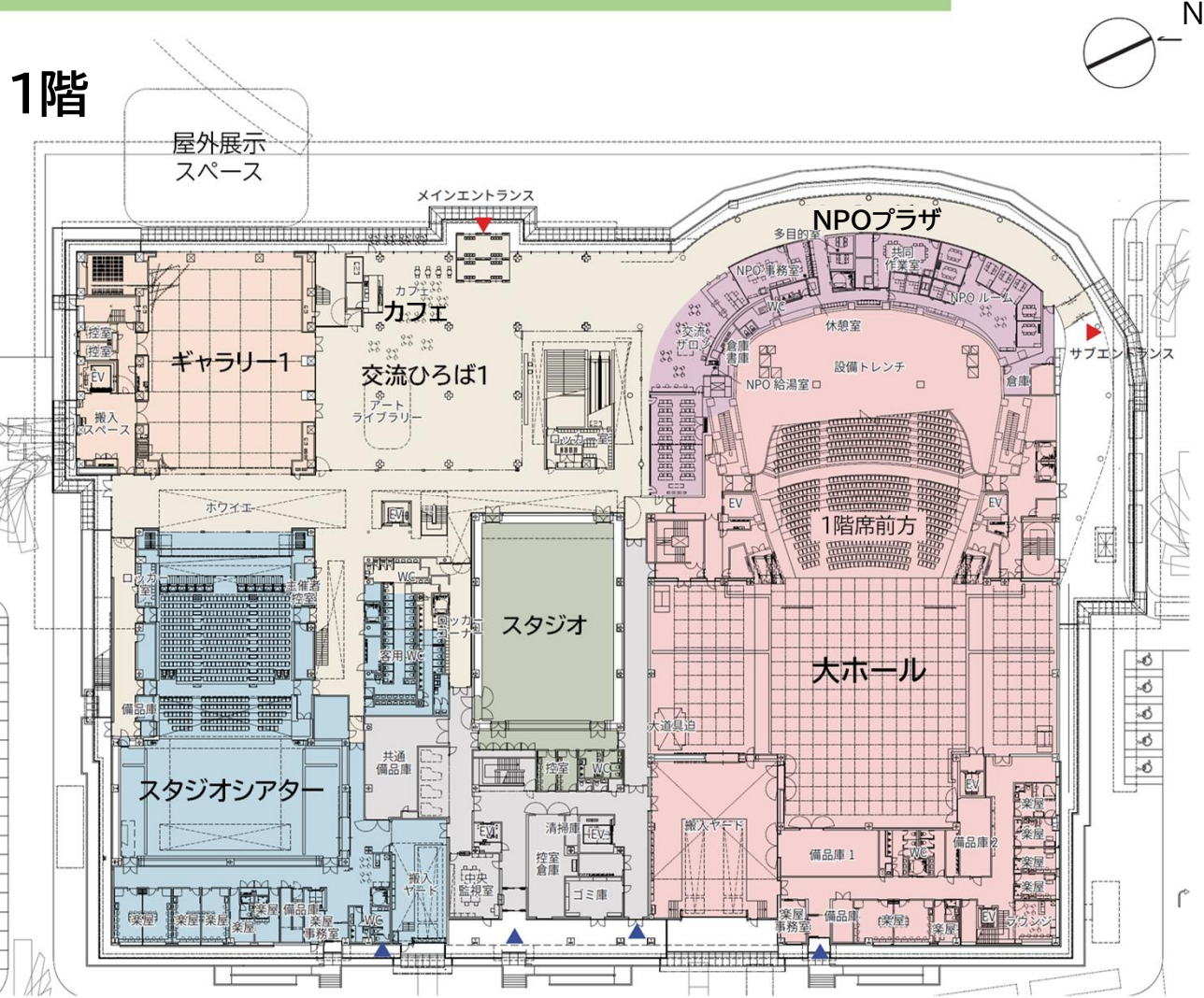
建物概要

- ・延床面積 31,996 m²
- ・建築面積 14,519 m²
- ・建蔽率 27.50%
- ・容積率 59.46%
- ・構造 SRC(鉄骨鉄筋コンクリート)、RC(鉄筋コンクリート)、S(鉄骨) 造
- ・基礎 基礎免震構造
- ・階数 地下1階、地上4階建て
- ・高さ 36.72m



■ 平面計画（1）

1階



エントランス

アクセスのしやすさに配慮し、JR宮城野原駅側にはメインエントランス、駐車場側にはサブエントランスを設置

交流ひろば1

メインエントランスに面する建物中央には「交流ひろば」を計画し、ひろばを取り囲むように、ギャラリーやスタジオシアター、スタジオ、NPOプラザなどの機能を配置し、視認性が高く、アクセスしやすい構成

カフェ

メインエントランスと交流ひろばに面するスペースに憩いの場となるカフェを設置

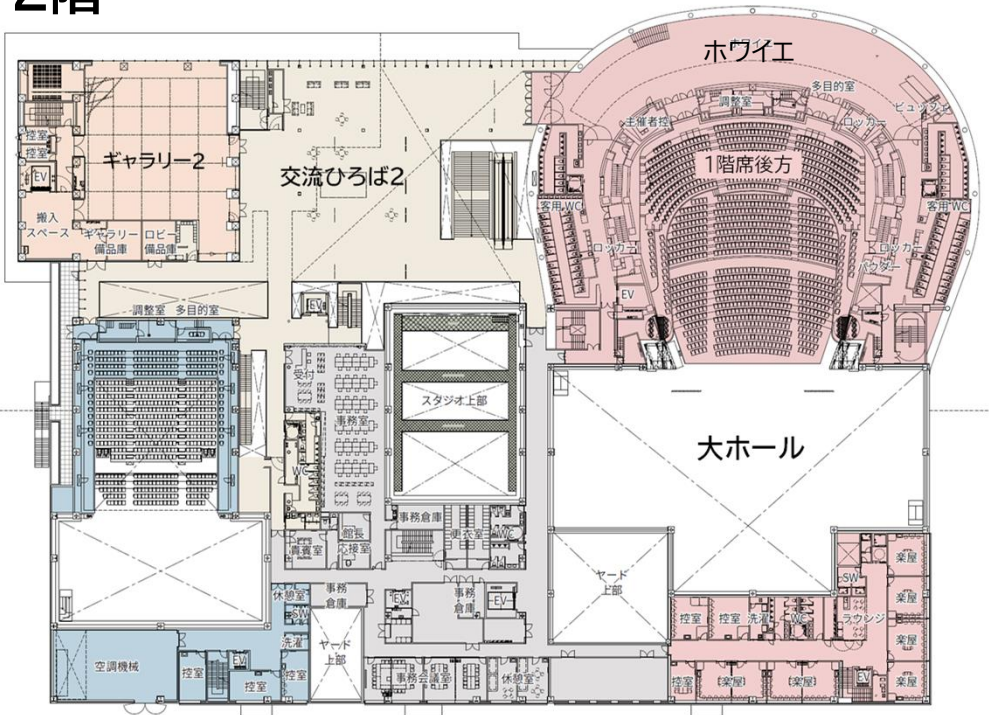


交流ひろば1

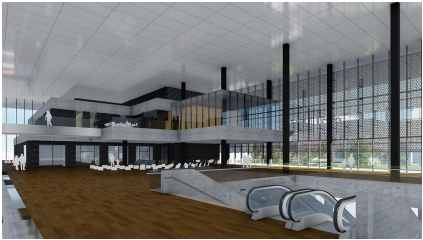
凡例 ■ 大ホール ■ スタジオシアター ■ スタジオ ■ ギャラリー ■ NPOエリア ■ 練習・会議室等 ■ 事務エリア ■ 共用部

■ 平面計画（2）

2階

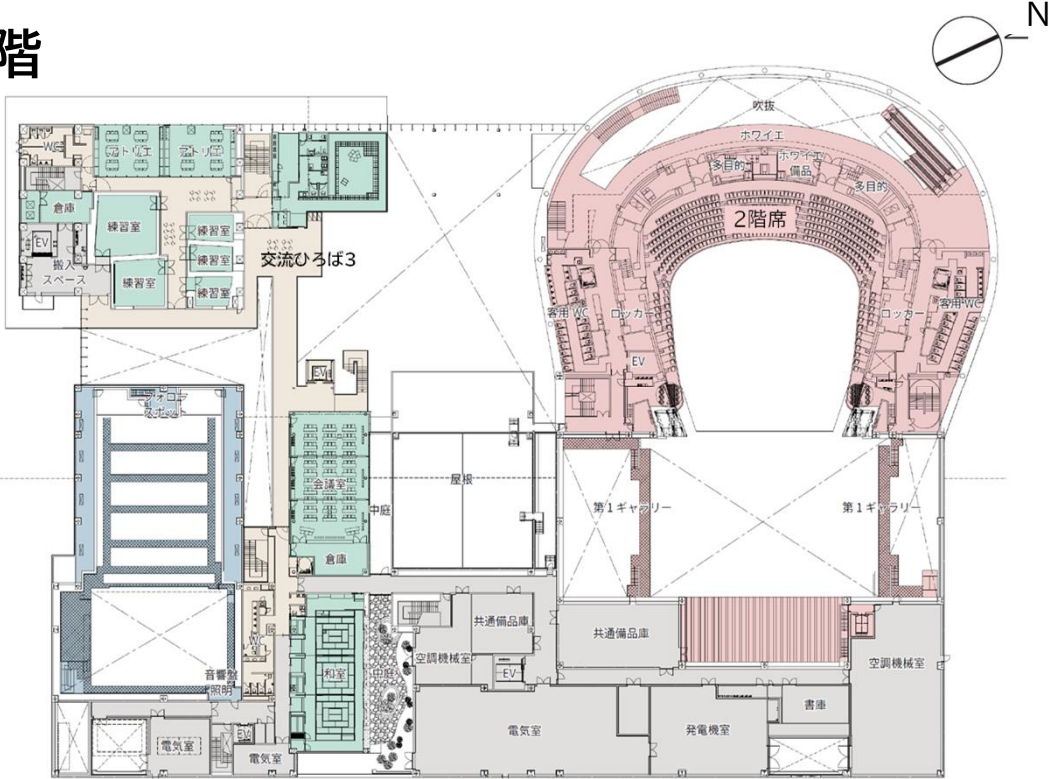


ホワイエ(大ホール)



交流ひろば2

3階



交流ひろば2

利用者が自由に時間を過ごすことができ、様々な活動につながる交流ひろば
大ホールで催しがある日は、天候に左右されず開場まで待つこともできるスペース

凡例 ■ 大ホール ■ スタジオシアター ■ スタジオ ■ ギャラリー ■ NPOエリア ■ 練習・会議室等 ■ 事務エリア ■ 共用部

■ 施設構成・概要【大ホール／スタジオシアター】

① 大ホール(1～4階)

国内外の著名アーティストによるポピュラー音楽やクラシック、オペラ、バレエ、ミュージカルをはじめとした各種公演及び大会・集会利用を想定し、テクノロジーの進化にも対応した多目的ホール

【客席】 2,147席(1階席1,280席 2階席413席 3階席454席)

【舞台】 主舞台(開口約18m×奥行18m)、上手袖舞台、下手袖舞台、奥舞台

【舞台機構】 昇降式オーケストラピット、音響反射板、吊物・照明バトン

- 【特徴】
- ・ 僅かに弧を描くバルコニー席を有する3階席構成の客席配置とすることで、包まれ感を醸成し、演者や観客が臨場感を得やすい造り
 - ・ 椅子の左右間隔は540mm、前後間隔は950mmを基本としたゆとりある客席配置とし、鑑賞時の快適性を確保
 - ・ 女性用トイレは十分な個室を確保する(104室)ほか、入口から出口までの動線を一方通行とし、空き個室が一目で分かるサインを設置

② スタジオシアター(1～2階)

演劇公演に適した形状を基本としながら、音楽ライブやダンスパフォーマンス、ファッションショーや各種イベント、最新技術を用いて創作された映像作品、美術作品とデジタル技術を組み合わせたアート展など、多様な表現芸術に対応可能

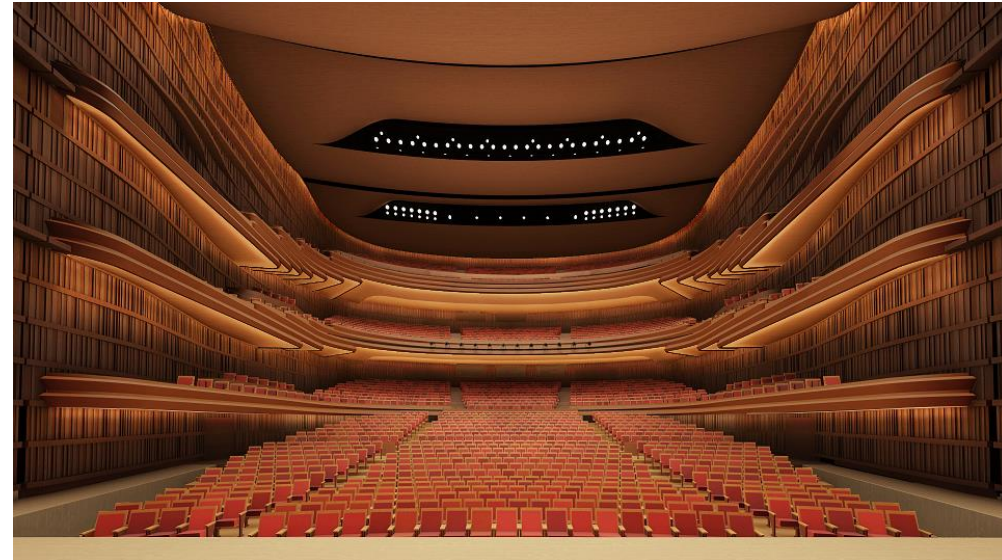
【客席】 最大578席(1階席440席 2階席138席)

スタンディング時 最大約1,600人

【舞台】 主舞台(開口約18m×奥行14m)、上手袖舞台、下手袖舞台

【舞台機構】 昇降式客席迫り、吊物・照明バトン

- 【特徴】
- ・ 1階は可動席を導入し、平土間としても利用が可能な構成
 - ・ ホワイエ側の壁面は可動式とし、ギャラリー及び屋外展示スペースとの一体利用が可能



■ 施設構成・概要【スタジオ／ギャラリー／その他機能】

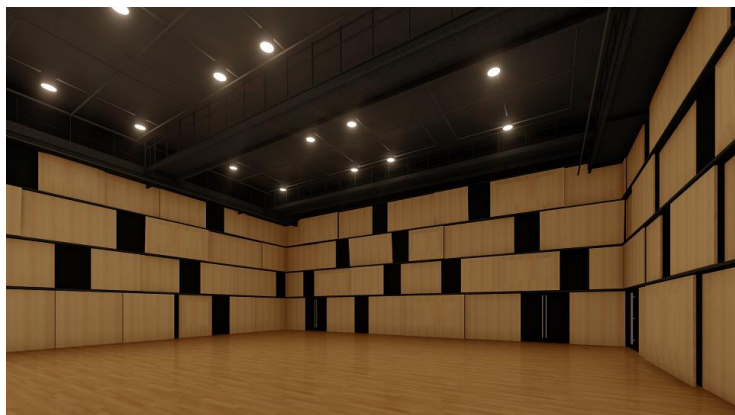
③ スタジオ(1階)

県民の活動拠点として、日常的な練習や稽古、小規模な発表会・展示会の場、各種ワークショップ・作品制作の場のほか、大ホール公演のリハーサル室としての利用や小規模公演も想定し、多様な利用形態に対応

【客席】 最大約300席

【面積】 約460㎡(大ホール主舞台と同程度)

【天井高さ】 有効約6m



④ ギャラリー(1・2階)

【面積】 約1,100㎡(1階 約600㎡、2階 約500㎡)

【天井高さ】 1階 3.85m、2階 3.0m

【特徴】

- ・ 2団体同時利用を想定し、1、2階とも2分割での利用が可能な造り
- ・ 1階は屋外に面する建具を開閉可能な仕様とし、屋外ひろばとの一体利用が可能



⑤ その他機能



◆ 和室

落ち着いた庭園に面し、3室それぞれ18畳ずつの広さがある和室

個別での利用はもちろん、一体での利用も可能

◆ こどもエリア

木のぬくもりが感じられるこどもエリアは、子ども向けの絵本に囲まれ、親子でくつろげる空間



◆ 会議室

約200㎡で100名収容可能な会議室は、分割利用も可能

◆ 練習室

日常的な文化活動が可能な練習室は、30～90㎡の防音仕様の5室を設置

◆ アトリエ

日常的な創作活動の場。
70㎡が1室、30㎡が2室

■ 施設構成・概要【NPOプラザ】

⑥ NPOプラザ(1階)

県内全域におけるNPO活動を促進する中核機能拠点として、これまで蓄積されたノウハウを基盤に、プラットフォーム機能のさらなる強化・充実

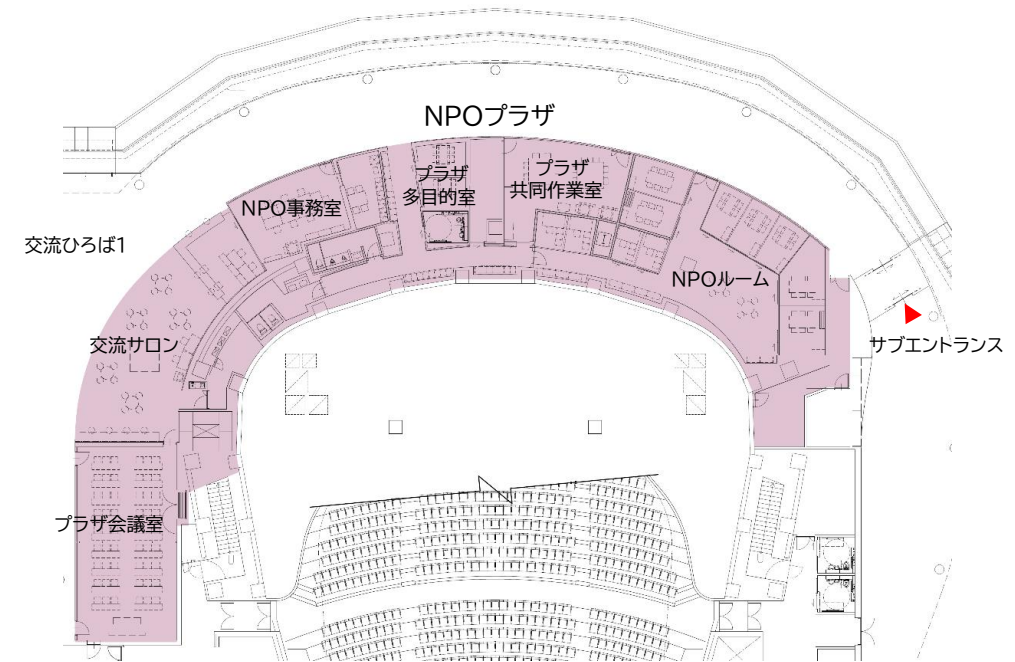
【面積】 約700㎡

【構成】 交流サロン、プラザ会議室、NPOルーム、プラザ多目的室、プラザ共同作業室



交流サロン

交流広場に面して配置された誰でも自由に使えるフリースペース。打合せ、簡単な作業、催事等で利用するほか、NPOの活動等に関する情報収集・発信や交流の場としての利用が可能



プラザ会議室

NPOの活動等に関する会議や研修会場としての利用が可能
約50名収容で2分割にしての利用が可能

NPOルーム

活動拠点の確保を望む団体が事務ブースとして利用できるほか、共用部分はフリースペースとしての利用を想定

プラザ多目的室

プライバシーの確保等が必要な個別相談業務やオンライン会議での利用を想定

■ その他施設の特徴

防災計画

- 人命の安全確保や施設機能の維持を図るため、十分な耐震性能を確保。基礎部分に免震層を設ける基礎免震構造を採用
- 災害停電時における電源供給を目的とした非常用発電機を設置（備蓄燃料により72時間の継続運転が可能）
- 災害断水時にも水道水、井水が利用できるよう、受水槽（水道水・手洗い用）や井水槽（洗浄水）を計画
- 様々な災害において、来館者がより安全に避難できるよう、全館避難安全検証法に基づくシミュレーション等を実施

ユニバーサルデザイン計画

- 施設内は段差を設けず、ゆとりある大きさのエレベーターを複数配置
- 各階に多機能トイレや授乳室を配置するとともに、ホールには車いす利用者席を分散配置し、席を選択できるよう計画
- サイン・誘導計画では、直感的に理解しやすいピクトグラムを併用し、大きさや位置、色彩などに配慮した計画

環境配慮計画

- 以下の取組等により、ZEB(※)化を目指す
 - 外壁、屋根の高断熱化や遮熱性能のあるサッシにより建物の断熱性能を向上させ、空調負荷を抑制しエネルギー消費量を低減
 - LED照明を採用し、昼光センサー、人感センサーを導入することで、きめ細やかな照明制御を可能とし、照明によるエネルギー消費量を低減
- 地中熱や太陽光などの自然エネルギーを活用し、省CO₂に寄与する計画

(※)Net Zero Energy Building

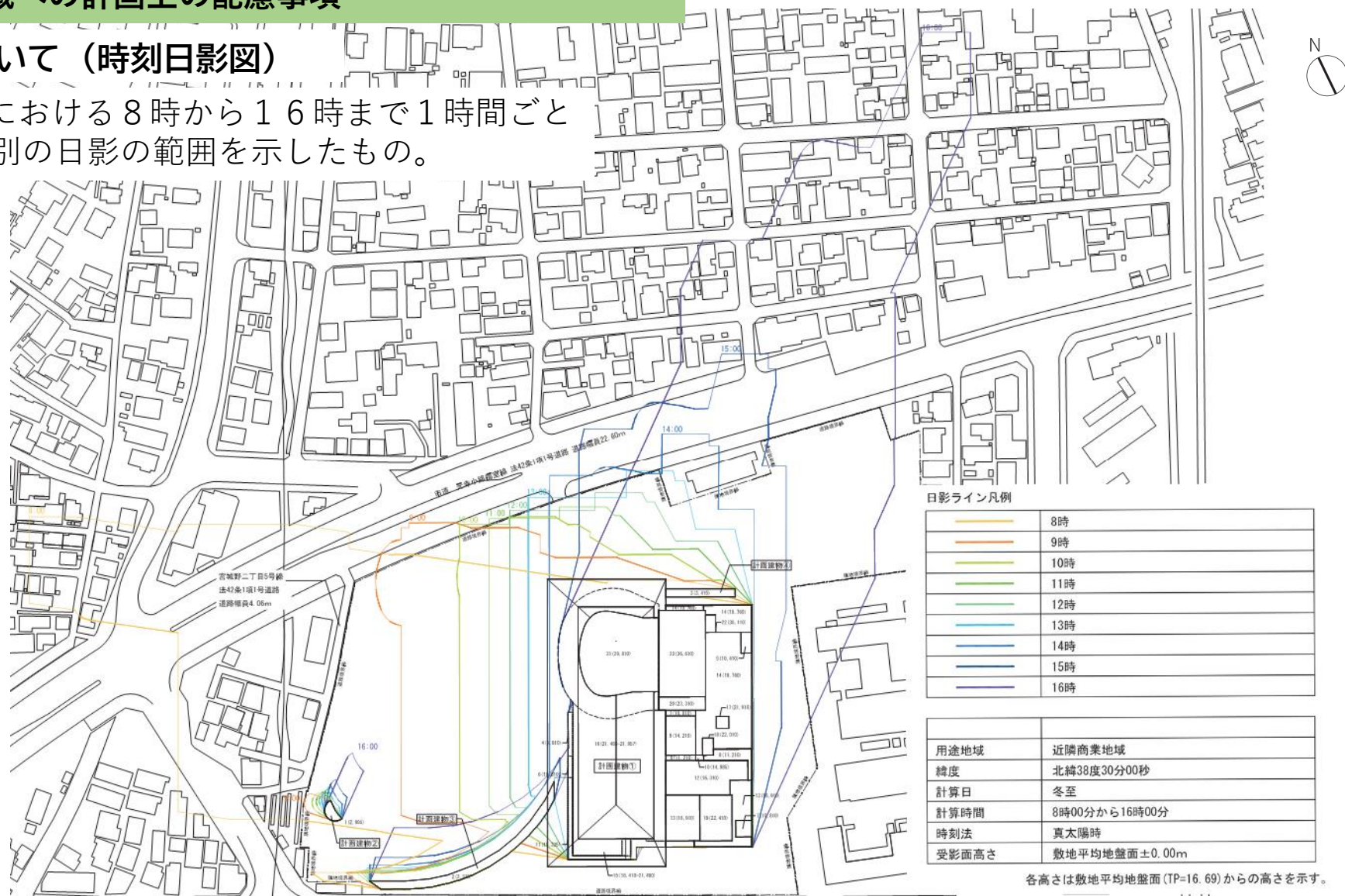
（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称

消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物で、その達成状況に応じて4段階に定義される

■ 周辺地域への計画上の配慮事項

日照について（時刻日影図）

冬至※における8時から16時まで1時間ごとの時刻別の日影の範囲を示したものの。



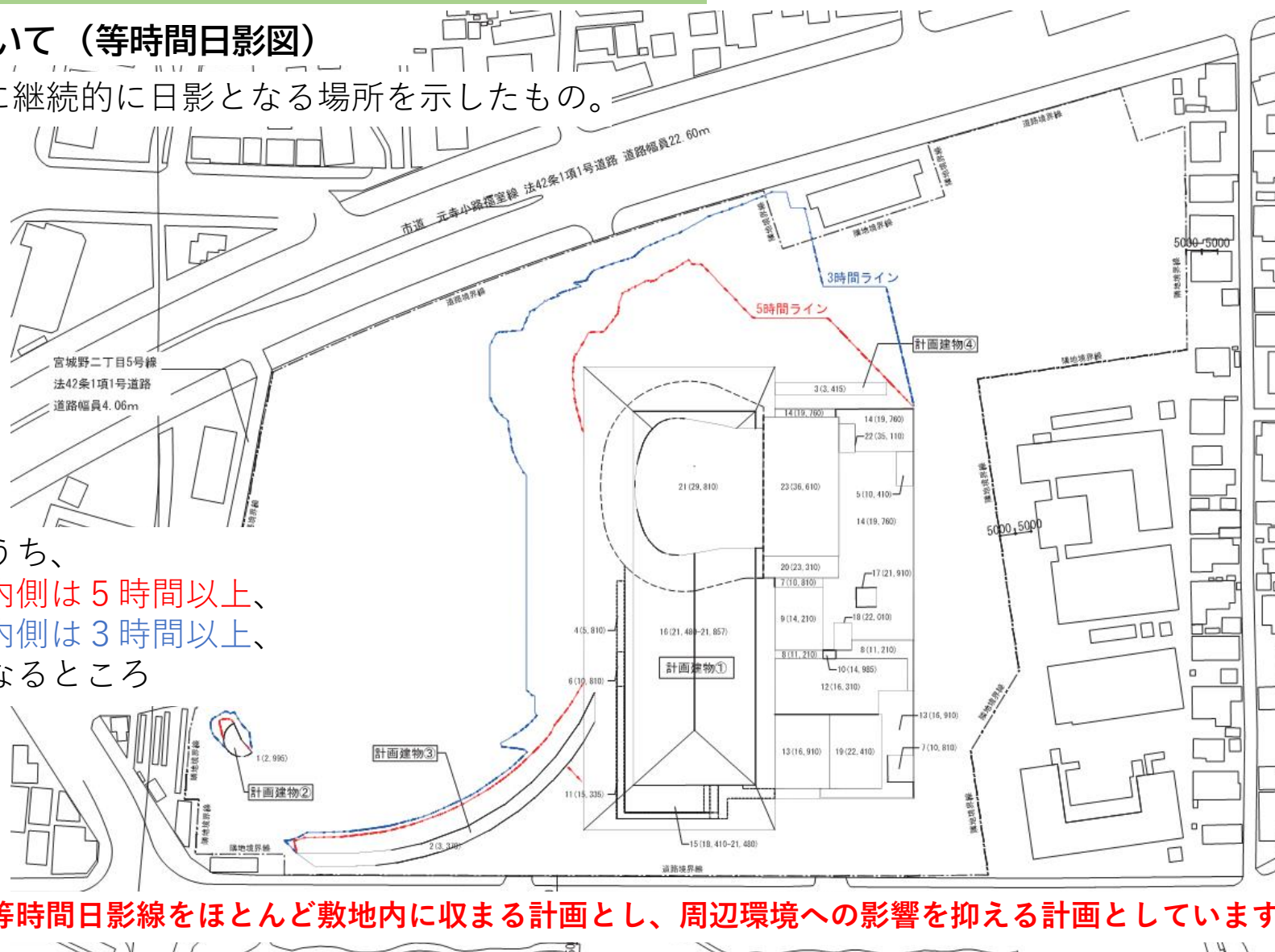
※冬至は太陽高度が最も低いため、条件が最も厳しくなるもの。

■ 周辺地域への計画上の配慮事項

日照について（等時間日影図）

冬至※に継続的に日影となる場所を示したもの。

1日のうち、
赤線の内側は5時間以上、
青線の内側は3時間以上、
日影となるところ



等時間日影線をほとんど敷地内に収まる計画とし、周辺環境への影響を抑える計画としています。

■ 工事概要

工 事 名: 県民会館・NPOプラザ複合施設新築工事

発 注 者: 宮城県知事 村井嘉浩

設計・監理: 株式会社石本建築事務所 東京オフィス

施工会社: 建築工事 鹿島建設・橋本店・阿部和工務店JV
舞台工事 三精テクノロジーズ株式会社
電気工事 未定 ※ (現在、発注手続き中)
空調工事 //
衛生工事 //

工 期: 令和7年7月 から 令和10年11月30日 まで

工事内容:

(1) 複合施設棟

SRC造一部RC造及びS造 地上4階地下1階
延べ面積 31,996㎡

(2) 屋外便所棟 RC造平家 延べ面積 39㎡

(3) 屋外通路棟 S造平家 建築面積 224㎡

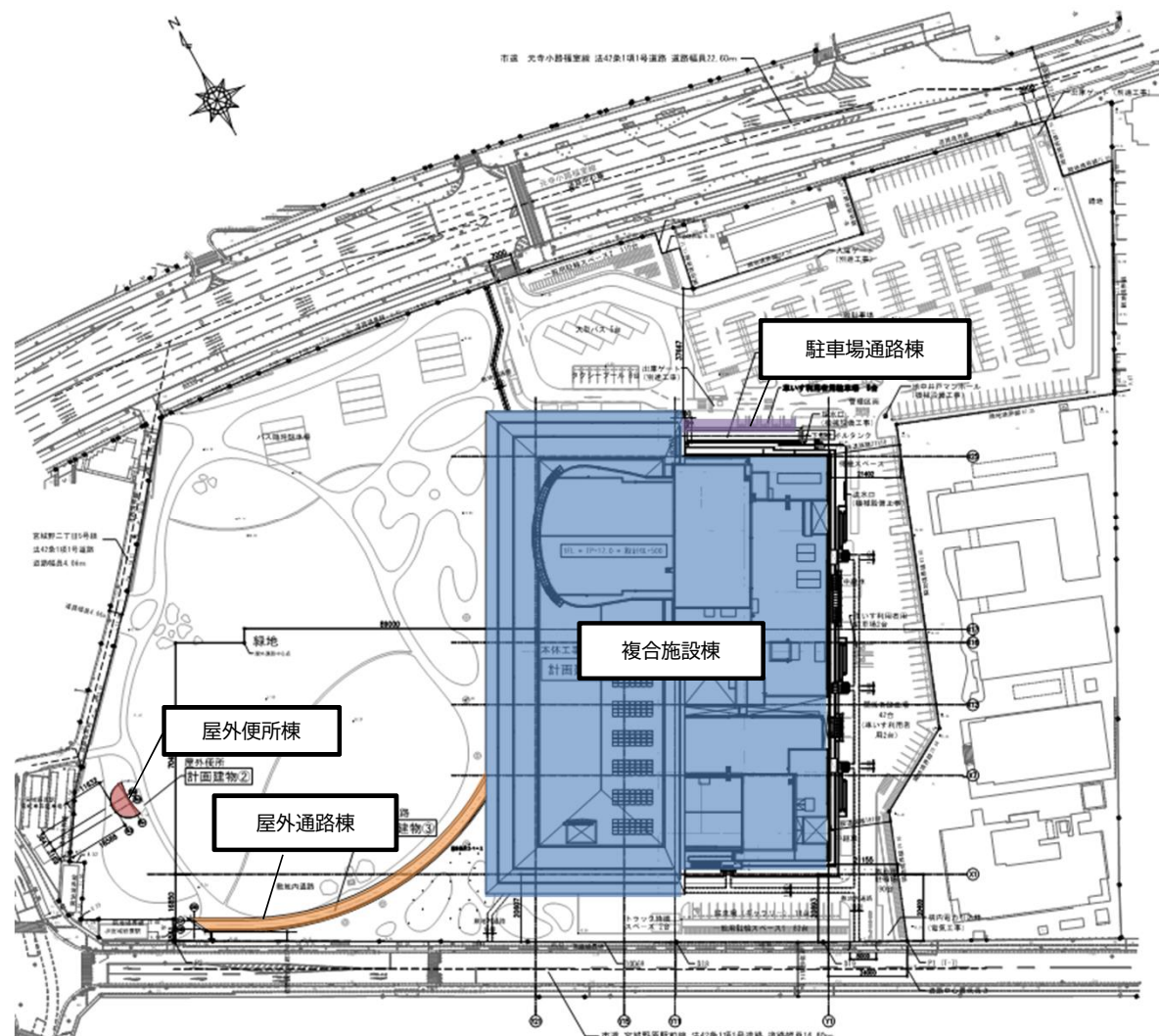
(4) 駐車場通路棟 S造平家 延べ面積 146㎡

(5) 昇降機工事 一式

(6) 外構工事 一式

(7) そのほか (舞台、電気、空調、衛生の各工事)

※ 未定の施工業者につきましては、工事看板等にてお知らせします。



工事の内容について

鹿島建設・橋本店・阿部和工務店特定建設工事共同企業体（JV）

代表 鹿島建設株式会社 東北支店 様

よりご説明いただきます。